

座学と演習(模擬体験)で学ぶカイゼン活動セミナー

IoTの時代に重要度を増す現場改善 ムダ取りのためのIEの基本原則と改善の着眼点を学ぶ

■日時： 2018年7月4日(水) 9時30分～17時 (受付9時15分～)

■場所： 神戸市産業振興センター 8 F (会議室802・803)

兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目8-4 (JR神戸駅より徒歩5分)

【主催】 神戸市、(公財)新産業創造研究機構 【共催】神戸商工会議所

■対象： ものづくり企業の経営者、生産管理、製造部門の方

※特に製造現場の改善推進担当者、リーダー候補、現場作業員など
IE(インダストリアルエンジニアリング)を初めて学ぶ方にお勧めします。

■参加費：無料

■定員： 30名 (製造業の方を優先します。)

■開催の狙い

参加者が自社に戻って、現場カイゼンに着手するきっかけとなるよう、「座学」とレゴブロックによる「模擬生産演習」を通じて、改善活動を進める上でのIEの基本原則とムダ取りの着眼点を分かりやすく解説致します。

■カリキュラム

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. IEの基礎 | カイゼンの着眼点と進め方 |
| 2. 演習 | 動作改善を演習を通じて学ぶ |
| 3. グループ討議と発表 | カイゼン案の共有と演習のまとめ |
| 4. ラインバランシング | モノの流し方とそのカイゼンの考え方 |
| 5. 演習 | 流れ改善を演習を通じて学ぶ |
| 6. グループ討議と発表 | カイゼン案の共有と演習のまとめ |
| 7. まとめ | |

■講師：大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授 皆川 健多郎 氏

【略歴】1998年大阪工業大学大学院博士後期課程単位修得、同大学工学部経営工学科助手・講師、准教授などを経て、現職。専攻は、経済性工学、IE。博士(工学)。

【公職】(公社)日本経営工学会 理事、日本設備管理学会 理事、関西IE協会 運営委員、IEレビュー誌 編集委員等多数を務める。

お申込みは、NIROホームページ <http://www.niro.or.jp/> から

申込み締め切り：6月29日(金)

R0.0 180514

問合せ先：(公財)新産業創造研究機構 技術支援部門 担当:玉垣、松山
電話：078-306-6806 e-mail：monoevent@niro.or.jp

■ 開催趣旨

IoTという言葉が、ものづくりの生産性を高める魔法のように語られています。確かにIoTは、生産現場の課題を洗い出す「見える化」のツールとしては強力ですが、最終的に現場の「カイゼン」につなげない限りは、生産性の向上は達成できません。

このような中、カイゼンの基本であるIE(インダストリアル・エンジニアリング：ムダ取りのための手法・着眼点)の重要性が近年、改めて見直されています。改善対象である現場の課題を把握するためには、IEの各手法を使うことも必要ですが、まず、「IEの基本原則」と「改善の着眼点」を知ることが重要となります。

本講習では、参加者が自社に戻って、現場カイゼンに着手するきっかけとなるよう、座学とレゴブロックによるミニカーの組立演習を通じて、改善活動を進める上でのIEの基本原則とムダ取りの着眼点を分かりやすく解説致します。

■ カリキュラム詳細

1. IE(インダストリアル・エンジニアリング) の基礎
 - ① 「IE」とは？
 - ② ムダの概念（ムダ作業の層別）
 - ③ ECRSの原則（改善の着眼点・順序）
 - ④ 動作経済の原則
 - ⑤ 5S
2. 演習（動作改善）
 - ① 動作のムダの着眼とそのカイゼン
 - ② ベストポジション
 - ③ レゴブロックによる組立演習
3. グループ討議と発表
4. ラインバランシング
 - ① ロット生産と1個流し生産のメリットとデメリット
 - ② ラインバランス
 - ③ 流れ改善の進め方
5. 演習（流れ改善）
 - ① 現状の測定（バランス効率）
 - ② カイゼン案の検討（バランス効率の向上）
 - ③ 儲かるライン構築（省人化、少人化）
6. グループ討議と発表
7. まとめ